

# 経済の活発化により業況改善も、先行きは不透明感漂う

～第127回熊本県内企業業況判断調査－2023年5月調査～

## 1. 今期の業況判断の結果

今回(2023年4～6月期)の業況DIは▲5(前回比+9ポイント、以下p)とコロナ禍前(2019年4～6月期)を上回った(図表1、2)。

改善の要因は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う経済活動の活発化と、原料・素材価格上昇の落ち着きが考えられる。

自由回答では、小売業や個人サービス業を中心に人流が回復し、需要も増加しているとの声が聞かれる。なお、仕入価格の上昇が落ち着いているとの声や価格転嫁ができているとの声も聞かれ、売上DIや利益DIの改善にもつながっていると考えられる(図表4)。

## 2. 先行きの業況判断

先行き(2023年7～9月期)の業況DIは▲5(今回比±0p)で横ばい(図表1)。5業種で改善、3業種で悪化と業種により先行きの判断は分かれている(図表3)。

物価高や人員不足などによる先行きの不透明感を不安視する事業者が多く、自由回答では、賃上げによる人件費の上昇を懸念する声や、今後の仕入価格上昇の動向が読みづらいとの声が聞かれた。さらに、今後仕入価格が上昇した場合に、昨年度すでに販売価格の引き上げを実施しているため、価格転嫁が今まで以上に難しくなるとの懸念もあるようだ。

なお、利益DIは▲16(同-3p)と収益環境の悪化を見込んでいる。

図表1 各DIの結果

	今回	前回比	先行き	今回比
業況DI	▲5	+9	▲5	±0
売上DI	4	+8	6	+2
利益DI	▲13	+13	▲16	-3
仕入価格DI	61	-7	58	-3
販売価格DI	36	+4	34	-2
設備DI	▲9	-2	▲12	-3
労働力DI	▲45	+1	▲50	-5
在庫DI	4	-3	0	-4
資金繰りDI	4	±0	3	-1

## 《本調査の概要・用語》

1. 対象企業	県内主要企業 536社
2. 調査時点	2023年5月1日～5月17日
3. 対象期間	2023年4～6月期実績 2023年7～9月期見通し
4. 回答状況	回答企業 214社 回答率 39.9%

今 回=2023年4～6月期

前 回=2022年1～3月期

先行き=2023年7～9月期

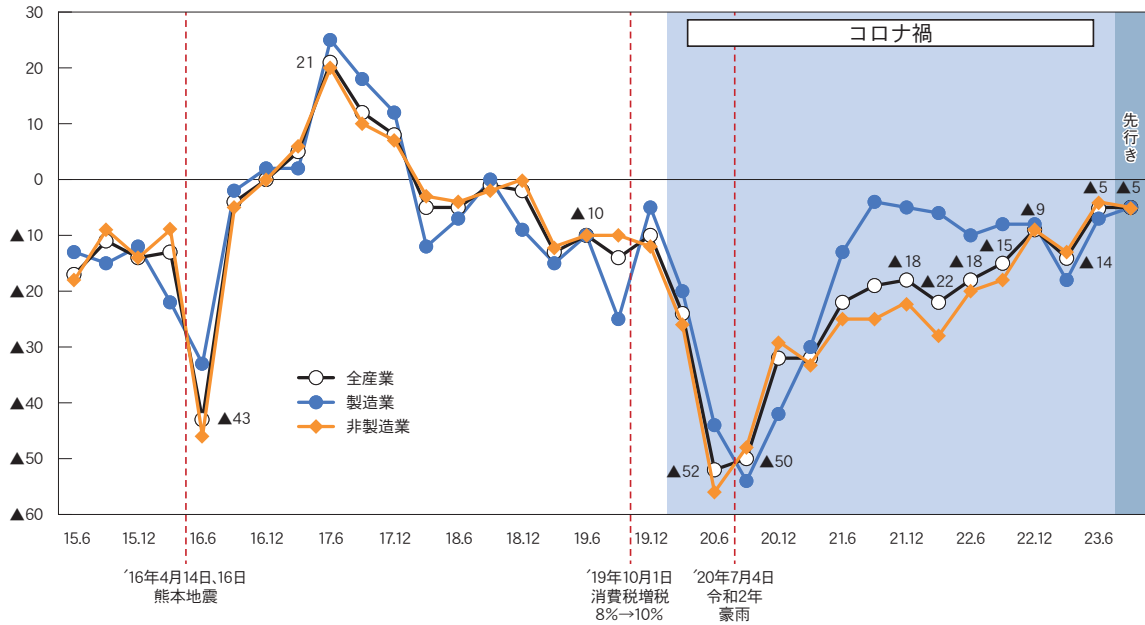
割合の差：ポイント、p

DI=「プラス」回答の割合-「マイナス」回答の割合  
業況DI=「良い」-「悪い」  
売上・利益DI=「増加」-「減少」  
仕入価格・販売価格DI=「上昇」-「下落」  
設備・労働力・在庫DI=「過剰」-「不足」  
資金繰りDI=「楽である」-「楽ではない」

## 自由回答より(抜粋)

- ・人の流れが活発化し、購買意欲及び資金需要が見込めると予想している。(事業所サービス業)
- ・コロナ終息にあたり、観光需要は増加傾向にある。(小売業)
- ・少し前まで受け入れられなかったが、最近は値上げを受け入れてくれる傾向にある。(運輸業)
- ・現在、材料価格の上昇は落ち着いているが、先行きはわからない。(食料品以外の製造業)
- ・人流の増加による、需要の高まりを事業に取り込むための人材確保が課題。(運輸業)
- ・物価上昇への対策として、人件費のベースアップを行った。ベースアップ分の利益の確保が今後の課題である。(事業所サービス業)
- ・人材不足と賃金の上昇により、先行きが不透明。(建設業)

図表2 業況DIの推移 (2015年6月調査～) ※数値は全産業の業況DI



図表3 業種別業況DI

	2023年		前回調査比	2023年	
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業 (n=213)	▲14	▲5	↗	▲5	➡
製造業 (n=58)	▲18	▲7	↗	▲5	↗
食料品製造業 (n=21)	▲41	▲10	↗	0	↗
食料品以外の製造業 (n=37)	▲6	▲5	↗	▲8	↘
非製造業 (n=155)	▲13	▲4	↗	▲5	↘
建設業 (n=24)	▲15	4	↗	▲13	↘
生産財卸売業 (n=19)	▲11	5	↗	▲26	↘
消費財卸売業 (n=15)	0	▲13	↘	14	↗
小売業 (n=24)	▲26	0	↗	4	↗
運輸業 (n=10)	▲11	▲40	↘	▲10	↗
事業所サービス業 (n=41)	▲15	▲2	↗	0	↗
個人サービス業 (n=16)	7	13	↗	13	➡

※前回比、今回比

↗	改善 (上昇)
➡	横ばい
↘	悪化 (低下)

図表4 業種別の売上DIと利益DI

	売上DI					利益DI				
	2023年		前回調査比	2023年		2023年		前回調査比	2023年	
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	▲4	4	↗	6	↗	▲26	▲13	↗	▲16	↘
製造業	▲10	5	↗	3	↘	▲42	▲16	↗	▲21	↘
食料品製造業	▲6	14	↗	19	↗	▲41	▲19	↗	▲33	↘
食料品以外の製造業	▲12	0	↗	▲5	↘	▲42	▲14	↗	▲14	➡
非製造業	▲2	3	↗	6	↗	▲21	▲12	↗	▲14	↘
建設業	▲15	▲13	↗	▲4	↗	▲30	▲17	↗	▲21	↘
生産財卸売業	11	0	↘	▲21	↘	▲6	▲21	↘	▲26	↘
消費財卸売業	18	13	↘	20	↗	▲18	▲13	↗	0	↗
小売業	▲13	21	↗	21	➡	▲26	▲4	↗	▲13	↘
運輸業	▲11	0	↗	20	↗	▲56	▲30	↗	▲20	↗
事業所サービス業	▲2	0	↗	10	↗	▲20	▲12	↗	▲12	➡
個人サービス業	21	19	↘	19	➡	7	19	↗	0	↘

## 1 調査項目ごとの状況

### (1) 売上・利益 ～売上DI、利益DIともに上昇も、利益には不安も残る～

➤ 売上DIは8p改善の+4、製造業で15p改善の+5、非製造業で5p改善の+3だった。

先行きは2p改善の+6、製造業で2p悪化の+3、非製造業で3p改善の+6の見通し。

自由回答では、食料品以外の製造業で、2022年度の半導体不足による自動車等の減産の影響が改善傾向であり、売上増加との声も聞かれた（図表5・6、資料編（1））。

➤ 利益DIは13p改善の▲13、製造業で26p改善の▲16、非製造業で9p改善の▲12だった。

先行きは3p悪化の▲16、製造業で5p悪化の▲21、非製造業で2p悪化の▲14の見通し。

ほとんどの業種で改善が見られるが、マイナス水準が続く。自由回答では、仕入価格や人件費など様々なコスト上昇が利益を圧迫しているとの声が聞かれる。（図表5・6、資料編（1））。

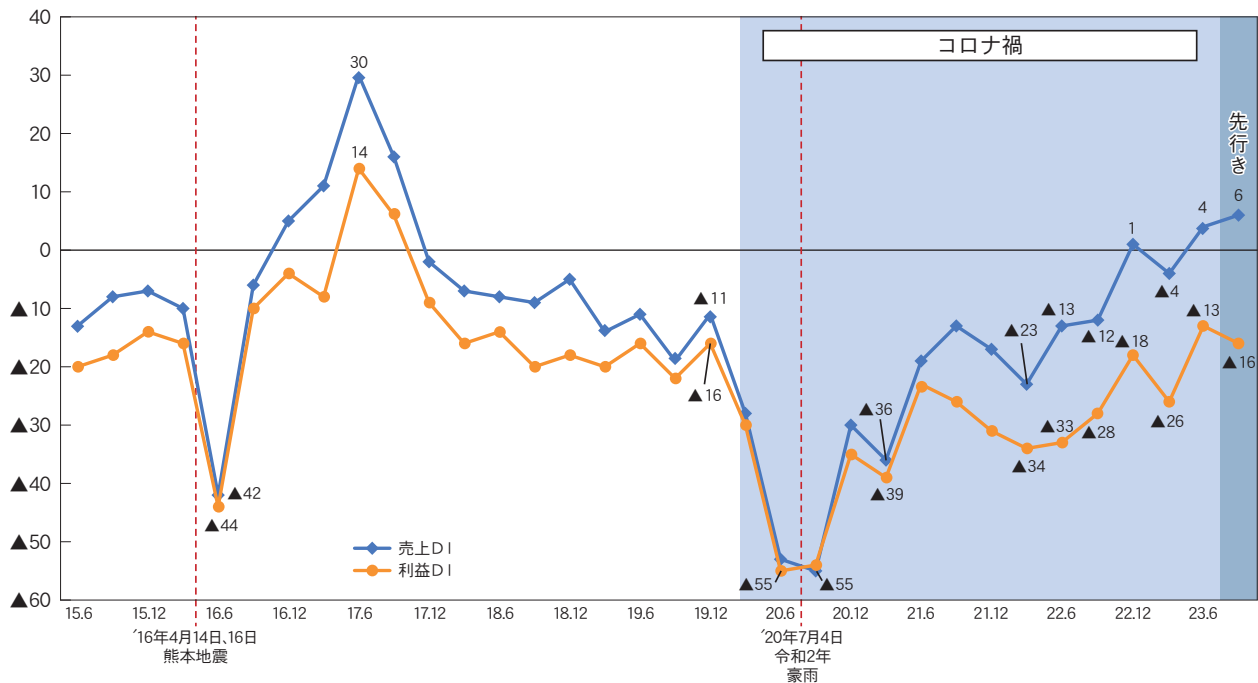
#### 自由回答より（抜粋）

【売上】・自動車の半導体不足による減産の影響は、改善傾向にあることから売上げは増加の見込み。（食料品以外の製造業）

【利益】・今後売り上げは伸びるが、仕入の価格が上がっているため営業利益が大幅に増えることは難しい。（食料品製造業）

・採用に関する費用と採用後の人件費がかさみ営業利益圧迫傾向が続く。（生産財卸売業）

図表5 売上DI・利益DIの推移



図表6 売上DI・利益DI

売上DI	2023年	2023年	2023年	今回	利益DI	2023年	2023年	2023年	今回
	1～3月期	4～6月期				7～9月期	1～3月期		
	(前回調査)	(今回調査)	(先行き)	調査比		(前回調査)	(今回調査)	(先行き)	調査比
全産業DI	▲ 4	4	▲ 6	▲	全産業DI	▲ 26	▲ 13	▲ 16	▲
製造業	▲ 10	5	▲ 3	▲	製造業	▲ 42	▲ 16	▲ 21	▲
非製造業	▲ 2	3	▲ 6	▲	非製造業	▲ 21	▲ 12	▲ 14	▲

(2)仕入価格・販売価格 ～仕入価格DIと販売価格DIとの差は縮小傾向～

➤仕入価格DIは7p低下の+61、製造業で20p低下の+52、非製造業で2p低下の+64だった。

先行きは3p低下の+58、製造業で4p低下の+48、非製造業で3p低下の+61の見通し。

前回調査と比べ、「上昇する」と回答した割合が減少し、「変化なし」の割合が増加したことでDIが低下している。自由回答でも高止まりしているとの声があり、仕入価格の上昇は落ち着いているものの、依然として高い水準であることがうかがえる（図表7・8、資料編（2））。

➤販売価格DIは4p上昇の+36、製造業で6p上昇の+26、非製造業で3p上昇の+39だった。

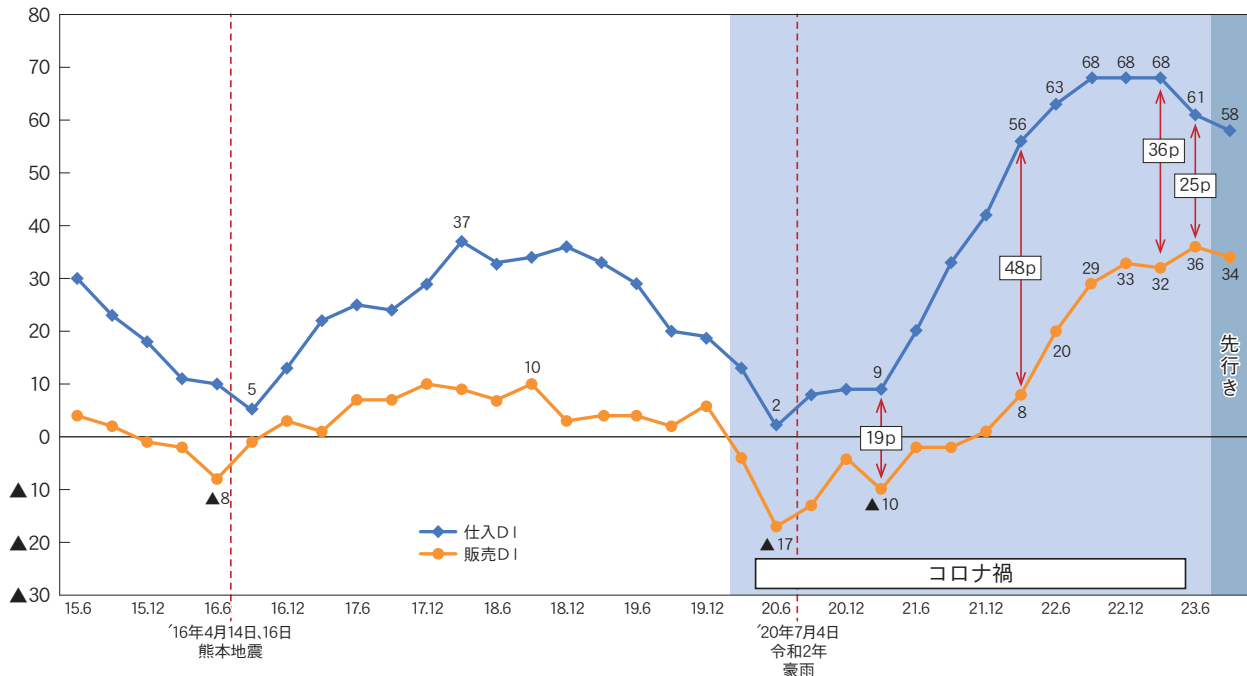
先行きは2p低下の+34、製造業で横ばいの+26、非製造業で2p低下の+37の見通し。

仕入価格DIと販売価格DIとの差は25p（前回比-11p）と縮小した。自由回答では、徐々に価格転嫁を実施しているものの、人件費や光熱費などのコスト上昇分を補うほどの価格転嫁には至らないとの声が聞かれた。さらに、価格転嫁の実施による顧客離れを懸念する声も多数聞かれた。（図表7・8、資料編（2））。

自由回答より（抜粋）

- 【仕入価格】・原材料の仕入れ価格が高止まりしている。（食料品以外の製造業）
- 【販売価格】・直接製品に使う材料や、認知度の高い電力費については、遅れながらも価格転嫁できている。一方人件費や、工場運営に関わる備品・消耗品の費用増については、なかなか顧客の理解が得られず苦勞している。（食料品以外の製造業）
- ・販売価格への転嫁による客離れが不安。（食料品製造業）

図表7 仕入価格DI・販売価格DIの推移



図表8 仕入価格DI・販売価格DI

仕入価格DI	2023年	2023年	前回調査比	2023年	今回調査比	販売価格DI	2023年	2023年	前回調査比	2023年	今回調査比
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)			1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	
全産業DI	68	61	↓	58	↓	全産業DI	32	36	↑	34	↓
製造業	72	52	↓	48	↓	製造業	20	26	↑	26	→
非製造業	66	64	↓	61	↓	非製造業	36	39	↑	37	↓

(3)設備・労働力 ～設備DIはやや低下、労働力DIは不足感が強い～

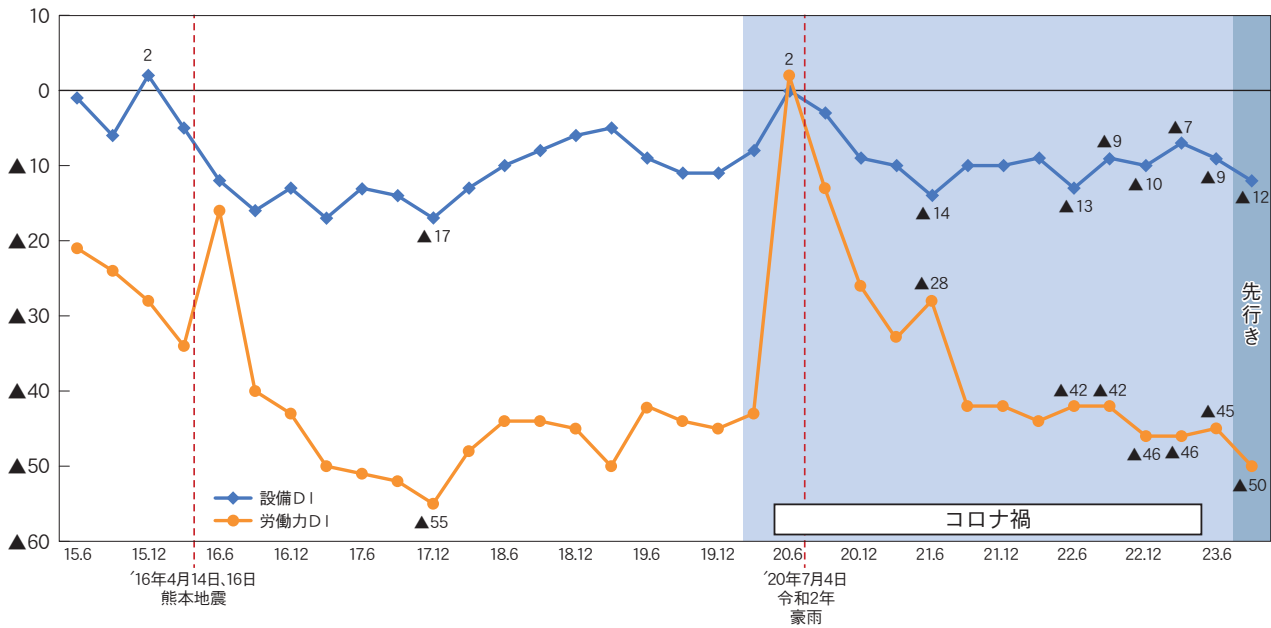
➤設備DIは2p低下の▲9、製造業で3p低下の▲3、非製造業で2p低下の▲12だった。  
 先行きは3p低下の▲12、製造業で2p低下の▲5、非製造業で2p低下の▲14の見通し。  
 食料品製造業で▲29（前回比-35p）、個人サービス業で▲40（同-26p）と低下し不足感が強まっている。（図表9・10、資料編（3））。

➤労働力DIは1p上昇の▲45、製造業で9p上昇の▲29、非製造業で2p低下の▲51だった。  
 先行きは5p低下の▲50、製造業で5p低下の▲34、非製造業で5p低下の▲56の見通し。  
 労働力DIは依然として低い水準であり、自由回答でも人員不足の課題を挙げる事業者は多い。  
 なお、人員不足が業績の悪化に影響しているとの声も聞かれる。（図表9・10、資料編（3））。

自由回答より（抜粋）

- 【労働力】
- ・労働者の人材不足と賃金の上昇により、先行きが不透明。（建設業）
  - ・人手不足により受注を増やすことができない。（事業所サービス業）
  - ・熊本での人材確保に苦戦しており、業績下振れの可能性がある。（事業所サービス業）

図表9 設備DI・労働力DIの推移



図表10 設備DI・労働力DI

設備DI	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回 調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回 調査比	労働力DI	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回 調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回 調査比
	▲7	▲9		▲12			▲46	▲45		▲50	
全産業DI	▲7	▲9	👉	▲12	👉	全産業DI	▲46	▲45	👈	▲50	👉
製造業	0	▲3	👉	▲5	👉	製造業	▲38	▲29	👈	▲34	👉
非製造業	▲10	▲12	👉	▲14	👉	非製造業	▲49	▲51	👉	▲56	👉

**(4)在庫・資金繰り** ～在庫DIはやや低下、資金繰りDIは横ばい～

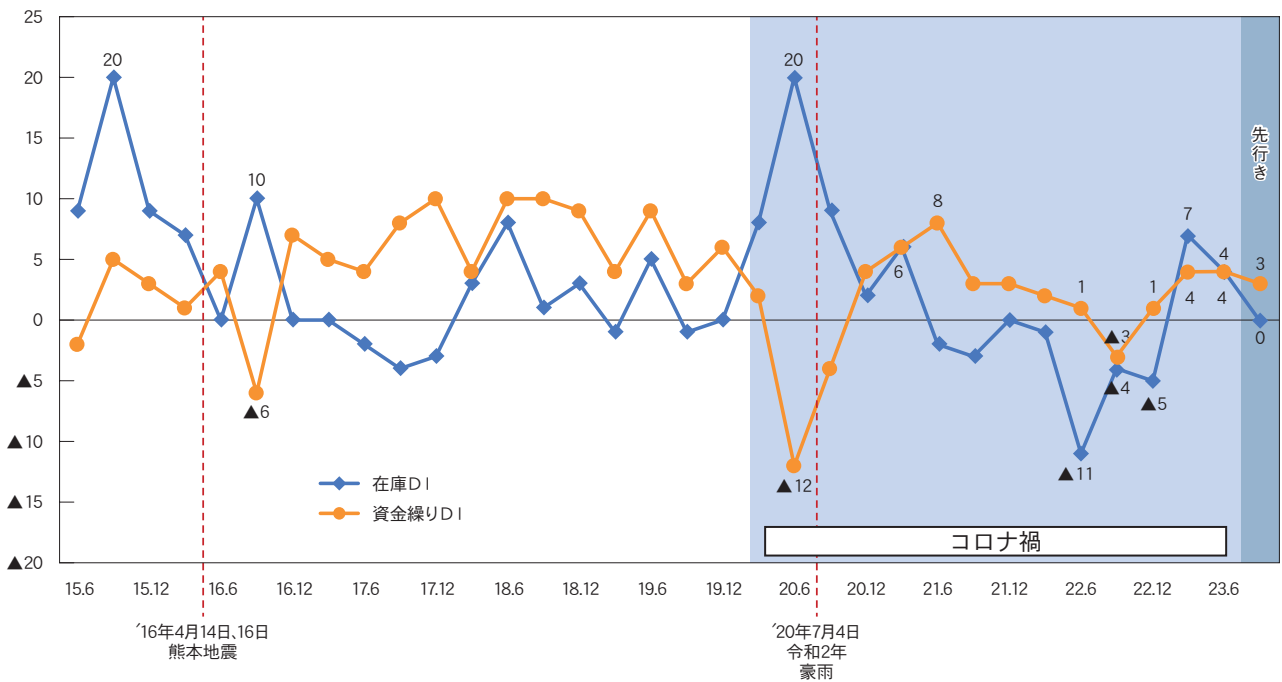
➤在庫DIは3p低下の+4、製造業で6p低下の+9、非製造業で2p低下の±0だった。  
 先行きは4p低下の±0、製造業で5p低下の+4、非製造業が4p低下の▲4の見通し。  
 前回調査で大きく上昇した食料品製造業で+10（前回比-31p）と低下した。経済活動の活発化により、需要が回復したことが要因と考えられる（図表11・12、資料編（4））。

➤資金繰りDIは横ばいの+4、製造業で2p改善の▲2、非製造業で横ばいの+6だった。  
 先行きは1p悪化の+3、製造業で2p改善の±0、非製造業で2p悪化の+4の見通し。  
 業種別では、建設業で+25（前回比+14p）、生産財卸売業で+21（同+15p）と改善がみられる（図表11・12、資料編（4））。

自由回答より（抜粋）

【在庫】・市場在庫が、引き続き高止まりの見込み。秋からの需要回復を期待しているが、米中分断や、米欧の高金利政策に影響により、先行きが不透明。（食料品以外の製造業）

図表11 在庫DI・資金繰りDIの推移



図表12 在庫DI・資金繰りDI

在庫DI	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回 調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回 調査比
	全産業DI	7	4	▼	0
製造業	15	9	▼	4	▼
非製造業	2	0	▼	▲4	▼

資金繰りDI	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回 調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回 調査比
	全産業DI	4	4	→	3
製造業	▲4	▲2	▲	0	▲
非製造業	6	6	→	4	▼

なお、各調査項目の業種別DIについては【資料編】（18～19ページ）に掲載しております。

# 【第127回熊本県内企業業況判断調査 資料編】

## (1) 売上DI・利益DI

	売上DI					利益DI				
	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	▲ 4	4	↗	6	↗	▲ 26	▲ 13	↗	▲ 16	↘
製造業	▲ 10	5	↗	3	↘	▲ 42	▲ 16	↗	▲ 21	↘
食料品製造業	▲ 6	14	↗	19	↗	▲ 41	▲ 19	↗	▲ 33	↘
食料品以外の製造業	▲ 12	0	↗	▲ 5	↘	▲ 42	▲ 14	↗	▲ 14	→
非製造業	▲ 2	3	↗	6	↗	▲ 21	▲ 12	↗	▲ 14	↘
建設業	▲ 15	▲ 13	↗	▲ 4	↗	▲ 30	▲ 17	↗	▲ 21	↘
生産財卸売業	11	0	↘	▲ 21	↘	▲ 6	▲ 21	↘	▲ 26	↘
消費財卸売業	18	13	↘	20	↗	▲ 18	▲ 13	↗	0	↗
小売業	▲ 13	21	↗	21	→	▲ 26	▲ 4	↗	▲ 13	↘
運輸業	▲ 11	0	↗	20	↗	▲ 56	▲ 30	↗	▲ 20	↗
事業所サービス業	▲ 2	0	↗	10	↗	▲ 20	▲ 12	↗	▲ 12	→
個人サービス業	21	19	↘	19	→	7	19	↗	0	↘

## (2) 仕入価格DI・販売価格DI

	仕入価格DI					販売価格DI				
	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	68	61	↘	58	↘	32	36	↗	34	↘
製造業	72	52	↘	48	↘	20	26	↗	26	→
食料品製造業	71	62	↘	57	↘	24	33	↗	29	↘
食料品以外の製造業	73	46	↘	43	↘	18	22	↗	24	↗
非製造業	66	64	↘	61	↘	36	39	↗	37	↘
建設業	89	96	↗	88	↘	59	71	↗	75	↗
生産財卸売業	56	47	↘	32	↘	28	32	↗	26	↘
消費財卸売業	82	87	↗	80	↘	53	73	↗	60	↘
小売業	61	58	↘	67	↗	45	39	↘	39	→
運輸業	78	80	↗	80	→	33	20	↘	20	→
事業所サービス業	48	41	↘	44	↗	12	17	↗	14	↘
個人サービス業	71	63	↘	50	↘	36	50	↗	44	↘

## (3) 設備DI・労働力DI

	設備DI					労働力DI				
	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比	2023年 1～3月期 (前回調査)	2023年 4～6月期 (今回調査)	前回調査比	2023年 7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	▲ 7	▲ 9	↘	▲ 12	↘	▲ 46	▲ 45	↗	▲ 50	↘
製造業	0	▲ 3	↘	▲ 5	↘	▲ 38	▲ 29	↗	▲ 34	↘
食料品製造業	6	▲ 29	↘	▲ 33	↘	▲ 29	▲ 38	↘	▲ 48	↘
食料品以外の製造業	▲ 3	11	↗	11	→	▲ 42	▲ 24	↗	▲ 27	↘
非製造業	▲ 10	▲ 12	↘	▲ 14	↘	▲ 49	▲ 51	↘	▲ 56	↘
建設業	8	▲ 4	↘	▲ 8	↘	▲ 44	▲ 50	↘	▲ 58	↘
生産財卸売業	▲ 24	▲ 21	↗	▲ 26	↘	▲ 78	▲ 53	↗	▲ 63	↘
消費財卸売業	▲ 27	▲ 29	↘	▲ 29	→	▲ 35	▲ 40	↘	▲ 47	↘
小売業	▲ 3	0	↗	▲ 4	↘	▲ 29	▲ 46	↘	▲ 50	↘
運輸業	0	10	↗	0	↘	▲ 78	▲ 80	↘	▲ 80	→
事業所サービス業	▲ 15	▲ 10	↗	▲ 12	↘	▲ 44	▲ 43	↗	▲ 55	↘
個人サービス業	▲ 14	▲ 40	↘	▲ 33	↗	▲ 71	▲ 69	↗	▲ 69	→



(4)在庫DI・資金繰りDI

	在庫DI					資金繰りDI				
	2023年		前回調査比	2023年		2023年		前回調査比	2023年	
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比
全産業	7	4	↓	0	↓	4	4	→	3	↓
製造業	15	9	↓	4	↓	▲4	▲2	↑	0	↑
食料品製造業	41	10	↓	5	↓	▲18	▲10	↑	▲10	→
食料品以外の製造業	0	9	↑	3	↓	3	3	→	5	↑
非製造業	2	0	↓	▲4	↓	6	6	→	4	↓
建設業	—	—	—	—	—	11	25	↑	25	→
生産財卸売業	▲6	▲5	↑	▲11	↓	6	21	↑	16	↓
消費財卸売業	24	13	↓	7	↓	24	20	↓	7	↓
小売業	▲6	▲4	↑	▲4	→	0	4	↑	4	→
運輸業	—	—	—	—	—	33	0	↓	0	→
事業所サービス業	—	—	—	—	—	7	▲2	↓	▲2	→
個人サービス業	—	—	—	—	—	▲14	▲13	↑	▲13	→

※在庫DIの“—”は該当なしの業種

(5)規模別・地域別業況DI

規模	2023年		前回調査比	2023年	
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比
9人以下 12社	▲12	▲18	↓	▲8	↑
10～19人 30社	▲33	▲13	↑	▲13	→
20～29人 25社	▲30	0	↑	4	↑
30～49人 29社	▲10	10	↑	▲21	↓
50～299人 91社	▲11	▲8	↑	▲3	↑
300人以上 20社	▲5	15	↑	30	↑

地域	2023年		前回調査比	2023年	
	1～3月期 (前回調査)	4～6月期 (今回調査)		7～9月期 (先行き)	今回調査比
熊本県 213社	▲14	▲5	↑	▲5	→
熊本市 133社	▲11	▲1	↑	▲2	↓
県北 25社	▲15	▲4	↑	▲4	→
県央 22社	0	▲9	↓	0	↑
県南 27社	▲40	▲11	↑	▲11	→

(6)地域別業況DIの推移 (2015年6月調査～)

